

平成26年上半期 火災・救急・救助統計



問い合わせ

火災 消防安全課 ☎254-0354 救急 救急課 ☎254-1600
救助 警防室 ☎254-1601 いずれも FAX 256-7755

上半期(1月1日～6月30日)の火災・救急・救助の各概況(速報値)は次のとおりです。

火災 出火原因の33%がたき火

上半期に発生した火災は72件で、昨年同時期と比較すると17件減少し、うち建物火災は8件減少しましたが、林野火災は9件増加しました。出火原因の1位は「たき火(33%)」で、火が周囲の枯れ草や可燃物に燃え移って火災に至っています。風が強いときや空気が乾燥しているときには、火の取り扱いに十分注意しましょう。



火災訓練

火災概況

▲は減を示す

区分	平成26年上半期	平成25年上半期	比較	
火災件数合計(件)	72	89	▲17	
火災種別(件)	建物火災	28	36	▲8
	うち住宅火災	10	20	▲10
	林野火災	14	5	9
	車両火災	3	5	▲2
	船舶火災	0	0	0
	その他の火災	27	43	▲16
死者(人)	2	4	▲2	
負傷者(人)	6	5	1	

出火原因

単位は件、▲は減を示す

出火原因	平成26年上半期		平成25年上半期		比較	
	全体	住宅	全体	住宅	全体	住宅
たばこ	1	0	5	3	▲4	▲3
こんろ	1	1	5	5	▲4	▲4
風呂かまど	0	0	1	1	▲1	▲1
炉	1	0	1	0	0	0
焼却炉	0	0	1	0	▲1	0
ストーブ	3	3	3	3	0	0
こたつ	0	0	1	1	▲1	▲1
電気装置	1	0	0	0	1	0
電気機器	1	1	5	0	▲4	1
電灯・電話等の配線	2	1	1	0	1	1
配線器具	0	0	1	1	▲1	▲1
たき火	24	0	11	0	13	0
溶接機・切断機	0	0	2	0	▲2	0
灯火	1	1	1	1	0	0
火入れ	0	0	8	0	▲8	0
放火	2	0	0	0	2	0
放火の疑い	13	0	13	3	0	▲3
その他	5	0	10	0	▲5	0
不明・調査中	17	3	20	2	▲3	1
合計	72	10	89	20	▲17	▲10

救急 軽症患者が全体の約52%

上半期の救急出動件数は7,028件でした。事故種別では急病が4,412件と最も多く全体の約63%を占め、次いで一般負傷が1,051件(約15%)、交通事故が646件(約9%)でした。昨年同時期と比較すると、出動件数は206件、搬送人員は208人増加しました。

また、救急出動全体の約52%が軽症患者でした。軽いけがや病気(擦り傷、歯痛、風邪など)の場合は、自家用車やタクシーなどでかかりつけの病院へ行きましょう。それが、本当に救急車を必要としている貴い命を救うこととなります。救急車の適正利用にご協力をお願いします。

救急概況

区分	平成26年上半期	平成25年上半期	比較
出動件数(件)	7,028	6,822	206
搬送件数(件)	6,337	6,138	199
不搬送件数(件)	691	684	7
搬送人員(人)	6,423	6,215	208

救助 交通事故による救助出動が最多

上半期の救助出動件数は61件で、昨年と同じ件数でした。そのうち、交通事故が35件で全体の約57%を占め、次いでそ



救助訓練

の他の事故10件、水難事故7件、建物等による事故5件、火災4件でした。

出動件数61件のうち、現場で活動した件数は40件で、39人を救助しました。活動件数に入っていない21件は、救助隊が到着するまでに自力で脱出したものや、付近の住民などによって救出されたものです。

救助概況

区分	平成26年上半期	平成25年上半期	比較
出動件数(件)	61	61	0
活動件数(件)	40	33	7
救助人数(人)	39	33	6